



2021年度 研究デザイン

亀山市立亀山東小学校

教育大綱 基本方針—1

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

「一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながらかまとともに主体的に学ぶために」

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

学校教育目標

地域の中で生き生きと学び 豊かな心をもって よりよく生きる子どもの育成

研究主題 主体的・協働的に学びを深める生活科・総合的な学習の時間の工夫
～地域の人・もの・ことを活かした授業づくり～

Ⅰ 研究主題設定の理由

昨年度、「国語科・生活単元」を研究領域として、子どもたちが対話を通して自分の考えを広げたり、深めたりできる授業づくりに取り組んだ。特に、「他者との対話」では、対話の量や質の向上を目指し、必然性や目的を大切に、より意欲的に対話に取り組み、表現力・思考力・判断力を高める取り組みを行った。子どもたちは、国語の授業の中で、他者との対話を通して、自分の意見に自信を持って発信したり、新たな自分の考えに気づいたり、友だちとの意見の違いに気づいたりしながら、自分の考えをより深めることができた。

しかし、国語科で身につけた対話をしながら、自分の考えを確立させたり、新たに自分の意見を見つけ出したりできる力を、他教科で活用できていないところがある。また、ペアやグループでの発表を行い、その後の自分自身への学びにつなげられていないことが課題となっていた。

子どもたちは、素直で明るく、与えられた課題に対して一生懸命に取り組むことができる。「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言ったり、困っている友達を優しく助けてあげられたりできる子どもも多い。学習や活動に対して、授業でも、目的やゴールを明確にすると、最後まで継続して意欲的に学習できる。

しかし、どの学習や活動においても、自らもっと知りたい、もっとやってみたくと一歩踏み出して自ら問題意識を持って、課題に取り組み、他者とコミュニケーションを図りながら、自分の考えや答えを導きだそうとする力は十分ではない。また、自分の考えや意見を少人数の場で、発信することはできるようになってきたが、クラスや学年全体の前で発信することには戸惑いを感じたり、苦手意識をもったりしている子どもも少なからずいる。

そこで、本年度は、子どもが、対話を通して考えを広げたり、深めたりできるようになった力を、国語科だけでなく他教科・他活動に広げ、自らの学びをより主体的に行い、深い学びへつなげられるようにしていきたいと考えた。意欲的に、自らの課題を設定し、探究的な学習を進めることを通して、これまで身につけた力を大いに発揮でき、活用できるものと考え、生活科総合的な学習の時間を領域と設定した。生活科・総合的な学習の時間において、身の回りの事柄から自ら課題を見つけ、地域（人・もの・こと）と積極的に関わりあい、対話を通して協働的に学びを進めることにより、自己の生き方や社会をより良く変えようとする実感をもてれば、子どもの主体的・協働的な学びが深まり、共に生きる力を育むことに繋がると考え、本研究主題を設定した。

2 研究主題について

○主体的な学びとは・・・

学習に積極的に取り組むだけでなく、学習後に自らの学びを振り返り、次の学びにつなげようとする

- ・自分からやってみようとする。
- ・楽しんで活動しようとする。
- ・進んで、多様な他者と関わろうとする。
- ・体験等を通して、自分の課題を設定する。
- ・見通しを持って課題を解決しようとする。
- ・学んだこと（成果や過程）を振り返り、次の課題を見つける。
- ・学んだことを生かし、自己の生活やこれからの生き方について考える。

○協働的な学びとは・・・

多様な他者と関わりを持ち、協力しながらともに課題を解決しようと活動すること

- ・多様な他者と積極的に関わろうとする。
- ・多様な情報を収集し、選択する。
- ・対話を通して、様々な意見を出し合い、考えを広げる。
- ・他者とともに、力を合わせてまとめたり、交流したりする

○サブテーマ～地域の人・もの・ことを活かした授業づくり～

探究的な学習の過程において、地域の人・もの・ことと積極的に関わりを持ち、子どもたちの意欲や興味をゆさぶり、子どもが自らの課題を見つけ、解決しようとする授業の手立てを考える。学習過程において、積極的に地域とのつながりを求め、授業での有効的な活用の仕方を検証していく。子どもや学級の実態を的確に把握し、子どもの能力に応じた必要な手立てを考える。

3 研究領域

総合的な学習の時間 生活科

4 研究構想図

亀山市 教育大綱

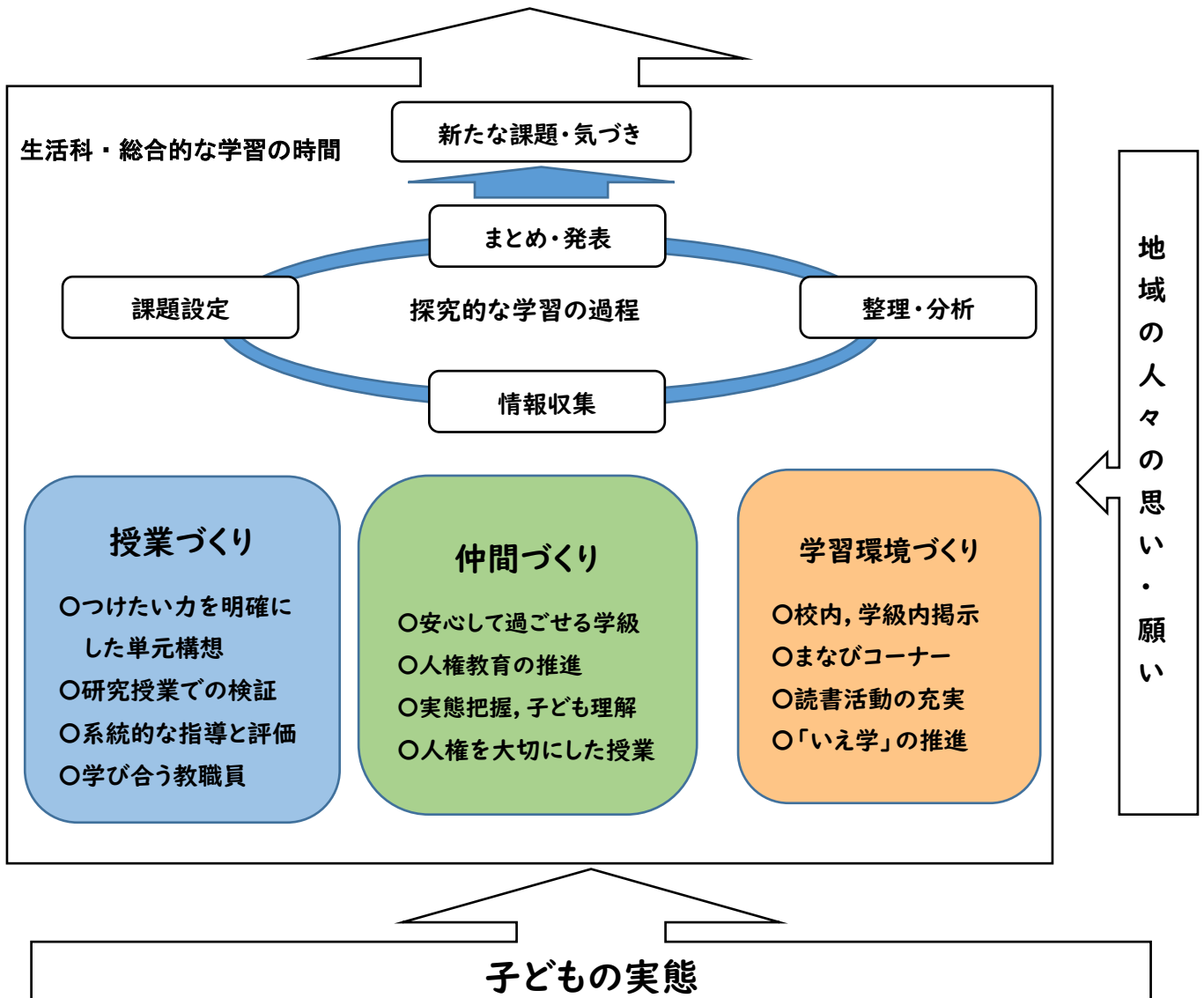
学校教育目標 めざす子どもの姿 やさしく かしこく たくましく

研究主題

「主体的・協働的に学びを深める
総合的な学習の時間の工夫」
～地域の人・もの・ことを活かした授業づくり～

亀山中学校区研究主題

自他を認め、ともに学び合い、
高め合う児童・生徒の育成



5 具体的な取り組みについて

各学年の生活科・総合的な学習の時間の探究テーマと学習内容

学年	探究テーマ	学習内容
1年	えがおだいさくせん!	<ul style="list-style-type: none"> ・いくぞ!がっこうたんけんたい ・げんきにそだて わたしのはな ・なつと なかよし ・あきと なかよし ・ひろがれ えがお ・ふゆと なかよし ・もうすぐ2ねんせい
2年	大すき!わたし 大すき! 校区の人・もの・こと	<ul style="list-style-type: none"> ・とび出せ!町のたんけんたい ・もっと知りたい たんけんたい ・町のすてき つたえあい ・おもちゃランドをひらこう (せかいでひとつ わたしのおもちゃ) ・これまでのわたし これからのわたし
3年	亀山のとくさんぶつはかせになろう	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山の特産物(お茶・ローソク・大豆など)について知り、それらに関係する人や事柄について調べたり、まとめたりする。 ・亀山の特産物に携わる人々の思いに触れ、亀山の特産物の魅力を伝えていこうとする。
4年	支えあう社会の一員になろう	<ul style="list-style-type: none"> ・職業や福祉について考える中で自分のできる何かや自分の生き方について考える。 ・自分を支えてくれる人について気づき、感謝の気持ちを持つ。
5年	だれもが暮らしやすい社会にしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・外国や外国につながりのある人について調べ、文化などの日本との違いについて知り、それらの人々が暮らしやすくなるための方法をまとめる。 ・だれもが暮らしやすくなるための方法を考え、調べたりまとめたりし、表現する。
6年	このまちに生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・このまちを支えている人の活動している内容や目的を調べたり、まとめたりする。 ・地域の方の思いを知り、自分たちができることを考え、考えを深めることができる。



